



ケロちゃん通信

2025年11月 第113号



あたごこどもクリニック

940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

☆ 肌寒い日も増え、冬の到来を思わせる季節になりました。年末年始の予定をたてたり、雪の心配も始まります。今年も残り少なくなってきましたが、世の中は政治も経済も不安定で、先行き不透明です。医療や福祉の分野でも、将来を見通すことは難しいですが、子供たちが明るく、穏やかな日々を過ごせるように、できることを頑張っていきたいと思います。

☆ 現在、RSウイルス、マイコプラズマ、溶連菌、感染性胃腸炎、covid19などが流行しています。東京等から来た方でインフルエンザもみられますが、まだ流行とまではいっていないようです。昨年のように年末年始の流行がないことを祈ります。

☆ インフルエンザワクチン接種も順調に進んでいます。フルミスト（経鼻弱毒生ワクチン）を希望される方も昨年よりも大分増えています。まだ年末まで予約可能ですので、ご予約お願いいたします。詳細はHP等にある案内をご覧ください。

☆ そろそろ来年度の診療予定を立てる時期ですが、原則、今年度の診療内容を継続していく予定です。

11・12月の診療予定

本間医師 11月18日午前午後 21日午前
12月12日午前 26日午前午後

インフルエンザワクチン土曜日専用外来：
11月8日(土)午後、29日(土)午後、12月13日(土)午後

年末年始の休診：12月29日(月)午後から1月4日(日)



診療案内(10-12月)

・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る
一般外来と慢性疾患(感染性のない疾患や定期処方など)
を診る慢性外来の診療時間を分けています。

	月	火	水	木	金	土
8:30	一般外来 (急性疾患)					
11:00		予防接種 健診 (1 歳未満)			予防接種 (1歳以上) 慢性外来	10:30~
11:30	インフル専用		インフル専用	インフル専用	インフル専用	インフル専用
11:45						~12:30
12:00						
13:30	発達外来					
14:00	予防接種 健診 (1歳未満)	予防接種 (1歳以上) 慢性外来				
14:45		インフル専用			インフル専用	
15:00	インフル専用			一般外来 (急性疾患)		
16:00						

17:30



・一般診察枠内にも予防接種枠がありますので、ご利用下さい。
・スマイリーでは、急性疾患は「一般外来」から、慢性疾患・定期
処方等は「慢性外来」からご予約下さい。
・もちろん、急を要するような場合にはすぐに ご連絡下さい。
詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

りんご病(伝染性紅斑)



☆ りんご病はヒトパルボウイルスB19の感染により発症します。
飛沫感染または接触感染で感染します。
今年も夏以降、流行がみられ、まだ発生は続いています。

☆ ほっぺがりんごのように赤くなるので、りんご病とよばれています。感染から1-2週間が感染時期になります。この期間に微熱やかぜ症状がでることもあります。

☆ 感染から2-3週間で、ほほの発疹、太ももや腕には赤い斑点や、網目状・レース状とよばれる発疹が出現します。年長児や大人がかかると微熱、頭痛、感冒様症状、関節痛を訴えることもあります。紅斑が出現せずに関節痛のみのこともあるので注意が必要です。紅斑は抗体上昇後に出現する二次的な要因によるもので、ほっぺが赤くなる時期には感染性はほとんどありません。
伝染性紅斑は一度かかると終生免疫がえられ、健常者は再感染しないといわれています。自然になおりますが、かゆみが強いときにはかゆみ止めなどを処方します。

☆ 診断: 典型的な発疹、流行状況で容易に診断できますが、血液検査でB19IgM抗体、B19ウイルスDNAのPCR法で検出する方法もありますが、診療所では一般的ではありません。

☆ 登園、登校禁止期間:
ほほが赤くなったときは、すでにうつる時期を過ぎているので、元気であれば登園・登校してもかまいません。
登園・登校許可書が必要な場合は、受診ください。



☆ 食事: いつもどおりでかまいません。

☆ 入浴: いつもどおりでかまいません。
ただし熱い風呂に長く入ると赤みが強くなって長引くことがあるので、短時間で切り上げましょう。

☆ 運動: 運動で体が熱くなったり日光に長くあたると、長湯と同じように赤みが長引きます。

☆ 予防: ワクチンはありません。

☆ B19未感染の妊婦さん、各種血液疾患児は、
患者さんとの接触をなるべくさけてください。
しかし、発疹のでる前の無症状の時期に感染源になるので、現実的な予防は難しいと思われます。

☆ 伝染性紅斑以外のパルボB19感染症:
・慢性溶血性貧血患者の無形性発作
・関節症状: 小児ではあまりみられませんが、思春期、成人では80%近くに認められます。一部は関節リウマチに発展する例もあるといわれています。
・子宮内感染: 妊婦さんが妊娠中、特に妊娠初期に感染すると胎児水腫の原因になることがあります。
・稀に心筋炎、骨髄不全の報告もあります。

